

令和2年6月8日

保護者様

京都市立加茂川中学校

校長 山下 道夫

## 学校再開後の部活動について

平素から、本校教育に御理解と御支援をいただきお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業期間を終了し、学校も「アプローチ期間」に入っていますが、標記の件について、下記のとおり対応することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

学校再開後、アプローチ期間は中止とします。

そのうえで、以下ア～ウの留意事項を踏まえ、当面、活動場所を校内に限定し、活動日の別を問わず、活動時間を2時間以内とすることを条件に、6月15日から部活動を再開します。なお、校外での活動や対外試合等の再開時期が決定すれば改めて通知します。

#### ア 活動再開にあたっての留意事項

- ① お子達の部活動への参加については、保護者の理解・同意を得た上、活動することとします。
- ② 各部活動の練習日や時間、活動に際しての、下記イ及びウの留意事項について、生徒・保護者へ周知します。また、活動再開初日等には、生徒に直接説明します。
- ③ 休校中は、自宅で過ごす等、普段とは異なる生活習慣の中で体力が低下していることが見込まれるため、十分な準備運動の時間を設けるなど、無理のない活動再開となるよう留意します。
- ④ 再開時期は、急激に気温・湿度が上昇するなど、熱中症が起きやすい気象条件が予想されます。体が暑さに順応していない時期でもあるため、暑さに徐々に慣らすために短時間での練習を工夫し、こまめな水分補給と休憩を頻繁にとることとします。
- ⑤ 運動部の活動においては、体育の授業時の取扱いに準じ、生徒の間隔を十分に確保するなどの対策を講じることを前提に、マスクの着用は必要ないとされていることを踏まえ対応します。文化部の活動においても、体力向上のための運動を行う場合は、上記の運動部の活動の取扱いに準じます。また、マスクを着用することで熱がこもりやすい、のどの渇きを感じにくく水分不足になりやすいといった観点から熱中症になりやすい条件が重なることも考えられるため、マスク着用の影響を考慮した活動内容の設定や水分補給の指導を行います。

#### イ 生徒の健康状態等の留意事項とお願い

- ① 自宅において十分に健康観察を行い、発熱や風邪の症状があるなど体調がすぐれない場合は、必ず自宅待機で休養するようにお願いします。
- ② 部活動中（前後含む）も適宜、健康観察を行い、体調不良が生じた場合は、活動をやめさせ、適切な措置をとります。

#### ウ 活動内容・時間等についての留意事項

- ① 部活動の登下校時も、マスクを着用の指導をします。
- ② 当面の活動場所は、校内に限定し、校外での対外試合、合同練習、合宿、演奏会等は自粛します。
- ③ 活動場所の密集を避けるため、部活ごとの活動時間を調整するなど工夫します。
- ④ 活動にあたっては、顧問又は部活動指導員の指導の下、部活動ガイドラインを遵守して実施します。  
加えて、通常、平日は、中学校2時間程度、休日は、中学校3時間程度のところ、当面、活動時間は2時間以内とします。特に活動再開当初は、熱中症対策のため短時間とします。
- ⑤ 上記期間は、飛沫感染防止のため、活動中においては、密集する活動や近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い活動、向き合っの発声や楽器演奏の活動については控え、当面、密集せずに距離を取って行うことができる活動に替えるなどの工夫をします。
- ⑥ 体育館や教室等の屋内においては、密閉空間とならないよう、窓や扉の開口、こまめな換気を行います。また、校舎内での運動をともなう活動は中止します。（卓球室での卓球部の活動は例外とします。）
- ⑦ 活動場所には、消毒液を設置します。また、活動前後での、石けんによるこまめな手洗いを励行し、生徒が手を触れる機会の多い箇所等は、こまめな消毒を徹底します。また、器具・用具・情報機器等は、生徒間での共用は可能な限り避けるとともに、やむを得ず共用する場合には、使用前後の消毒及び手洗いを徹底します。また、楽器や情報機器等で消毒することができない場合は、使用前後の手洗いを徹底するとともに、ナイロン製手袋を着用して使用するなど工夫します。
- ⑧ 複数の部が一度に更衣室を使用する等、その利用が密集状態とならないよう、時間をずらすことや、別の教室を活用する等、十分なスペースを確保し、換気に努めます。また、更衣室と同様に活動する教室もこまめに換気し、多人数が長時間滞在することがないように注意喚起します。
- ⑨ プールを使用する活動については、別途スポーツ庁からの通知が予定されており、それを受けた後、可否について通知するため、その間のプールの使用は控えます。

以上